

# MRI 検査要項

## I. 装置概要

- ・当院のMRI装置は  
GE Yokogawa Medical System社製 SIGNA EXCITE 3.0T HD (2006年設置)と  
SIGNA EXCITE 1.5T(2006年設置)です。

## II. 検査・撮像目的

- ・体内には無数の水素原子核(プロトンproton)があり、個々のプロトンは小さな磁石と同じで強い静磁場の中にプロトンをおくと、一斉に縦方向に整列し、一定の周波数の電波を照射すると、プロトンが横向きに倒れます。(共鳴現象)  
外部の電波を切ると、電波を出しながらプロトンが戻ってきます。(緩和現象)緩和の速度は、組織や病変により異なります。この電波を収集し、コンピューターで解析したものを利用して画像にし、診断を行ないます。

## III. ご依頼前の注意

- ・**依頼前に必ず確認して頂きたい項目は下記の通りです。**

- ① **ペースメーカー等の体内機器および妊娠初期は禁忌**なので検査できません。
- ② 胎児または乳幼児に対する安全性は確立されていません。
- ③ 意識状態不良の場合、動き等により撮像できない場合があります。
- ④ 閉所恐怖症の方は、装置の構造上撮像できない場合があります。

上記四項目に該当した場合、検査依頼をお断りする場合があります。  
(③、④の項目で検査が必要な場合、麻酔等の前処置が必要です。)

- ・患者様の脱衣、移動に介助が必要な場合、介助をお願いする場合があります。  
(看護師、看護助手、介助可能な家族の方)
- ・患者様の状態(体動、閉所恐怖症等)により検査できない場合があります。  
(その場合は後述の『検査中の連絡対処について』の項に従って対処させていただきます。)

## IV.オーダー方法(オーダーから結果報告までの流れ)

### ① 電話でご予約をしてください。

TEL : 072-958-1000

- ・ 検査内容をお伝えください。
- ・ 検査日時を決めます。
- ・ 患者様の氏名、性別、生年月日、連絡先電話番号をお伝えください。
- ・ ご予約のお電話は、24時間いつでもお受けいたします。

### ② 患者さまに以下のご説明をお願いいたします。

- ・ 検査の説明と必要性。(閉所での検査、騒音等)
- ・ 造影剤使用検査時の問診。
- ・ 造影剤使用時(骨盤造影時も含む)の前処置について。  
(検査3時間前より絶食。水分摂取可。)
- ・ 腹部、腹部造影検査時の前処置について。  
(検査6時間前より絶食。水分摂取可。脂肪分の摂取不可。)
- ・ 骨盤部検査時の前処置について。(30分前よりの蓄尿)
- ・ 当日、お持ちいただくもの。  
(保険証、『①診療情報提供書/MRI検査依頼票』、『②MRI予約票』、『③MRI検査造影剤問診票』、参考フィルムなど)
- ・ 検査当日30分前に、城山病院1階総合案内にお越しいただくこと。

### ③ ファックスにて送信して下さい。

- ・ 『①MRI検査依頼票』にご記載後、ファックスにて送信して下さい。  
(造影検査の際は『③MRI検査造影剤問診票』も送信してください。)

FAX:072-958-5210

- ・ 患者さまに『①診療情報提供書/MRI検査依頼票』と『②MRI予約票』と参考フィルムをお渡し下さい。  
(造影検査の際は『③MRI検査造影剤問診票』もお渡しください。)

上記書類は、当院ホームページ ⇒ 予約票印刷 ⇒ MRI検査関連の『検査依頼書類Download』よりダウンロード及び印刷してご使用ください。(http://www.shiroyama-hsp.or.jp)

上記ダウンロードがご無理な場合は、当院までお電話下さい。御近隣に限り届けさせていただきます。

## ④ 結果報告について

- ・所見不要の場合

検査終了後、依頼時のご希望メディア（フィルムもしくはCD/DVDにて患者さまにお渡しいたします。

- ・所見要の場合

検査終了後、依頼時のご希望メディア（フィルムもしくはCD/DVDにて患者さまにお渡しいたします。  
所見がつき次第、結果は郵送させていただきます。また、御希望によりFAXもさせていただきます。

## V.検査・撮影中の連絡対処について

・撮影中に不測の事態や確認等の必要が生じた場合には、下記の順で連絡・対処させていただきます。  
（上位番号より連絡確認。連絡がとれない場合は順次下位番号へ連絡し、指示を仰ぎます。）

- ① 検査依頼医への連絡及び対処確認。
- ② 当院放射線科医師への連絡、経緯報告及び対処確認。